

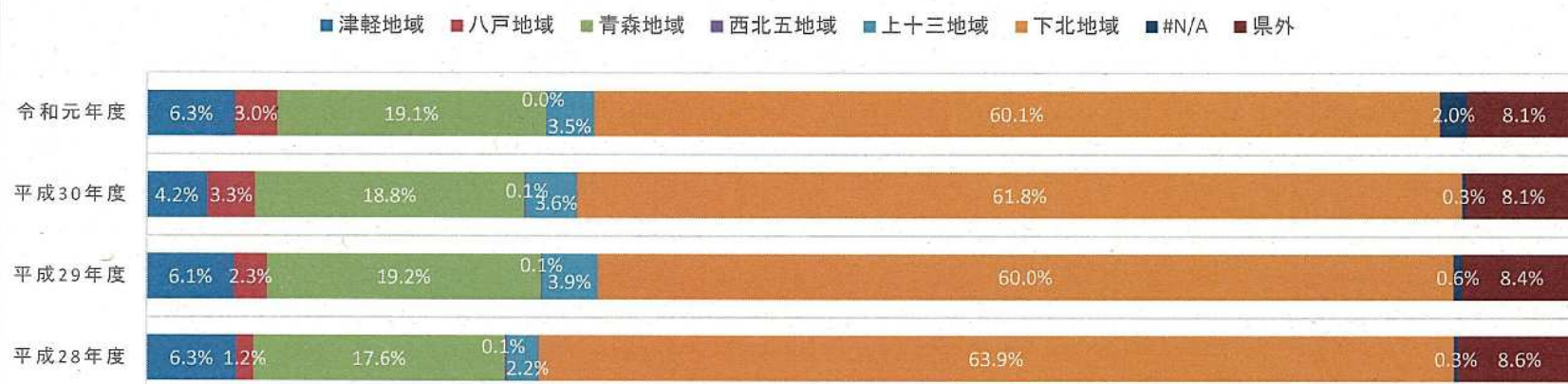
令和２年度青森県地域医療構想調整会議（書面開催）に係る意見等と対応

No.	構想 区域	意見の内容（一部要約）	意見への対応	提出者
1	下北	<p>（資料2-2：令和２年度病床機能報告の速報（病床の機能分化・連携の状況）下北地域）</p> <p>急性期における令和７年の必要病床数162床に対し、予定病床数は410床と248床過剰である一方、回復期については必要病床数168床に対し、予定病床数は78床と90床不足する計算になるが、今後、県として回復期病床の確保へ向け、どのように調整を行う予定であるか方向性を聞きたい。</p>	<p>引き続き、地域医療構想調整会議を活用した医療機関相互の協議及び地域医療介護総合確保基金を活用した支援などにより、病床の機能分化・連携を進めていきます。</p>	保険者協議会
2	下北	<p>（資料5：病院プロフィールシート ３頁 ※添付資料参照）</p> <p>むつ総合病院のプロフィールシートの中で、「下北地域においては地域完結型の医療提供体制を構築する必要があります」との記載があり、まさにそのとおりであると思う。</p> <p>しかしながら、別添「参考①」のとおり、協会けんぽの加入者についてレセプトデータを分析した結果、下北地域に居住している患者のうち、自地域に所在する医療機関へ入院している割合は６割程度であり、残りの４割は他地域、うち２割近くは距離的にも離れている青森地域で入院している状況である。「参考②」の心疾患でも下北地域の医療機関へ入院している割合は６割程度で、「参考③」の脳血管疾患に至っては下北地域の医療機関へ入院している割合は令和元年度では半数に満たず、多くの患者は青森地域まで足を運ばなければならない状況となっている。</p> <p>県としましては、下北地域における地域完結型の医療提供体制構築に向け、引き続き医療機関の連携等、調整および支援をお願いしたい。</p>	<p>御意見を踏まえ、引き続き、医療機関等の関係者と連携し、医療提供体制の充実に努めていきます。</p>	保険者協議会

下北地域における患者流出状況（全疾病）

参考①

【下北地域に居住する患者がどの地域で診療を受けているか（入院）】

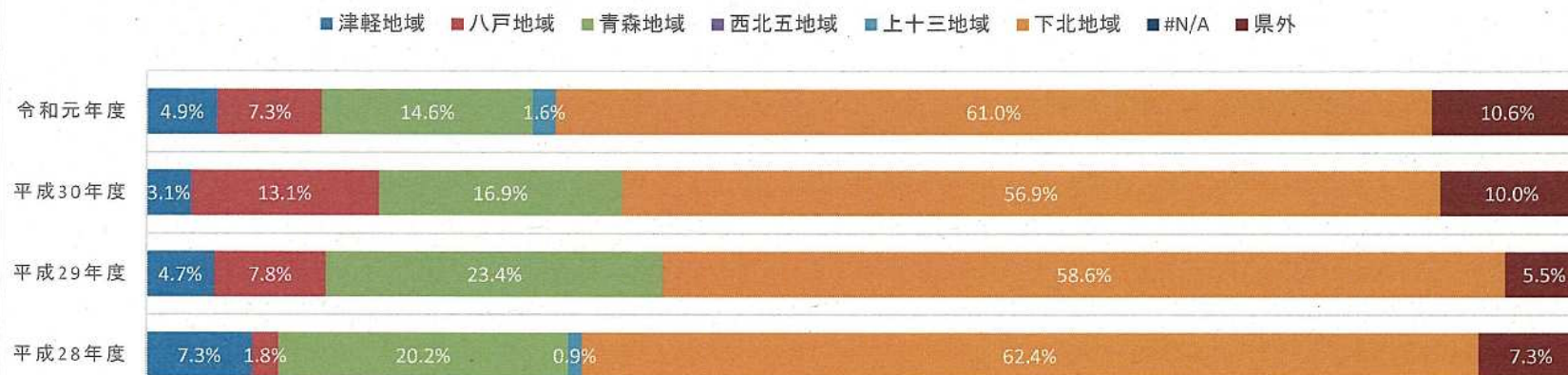


【下北地域に居住する患者がどの地域で診療を受けているか（入院外）】



下北地域における患者流出状況（心疾患）

【下北地域に居住する患者がどの地域で診療を受けているか（入院）】

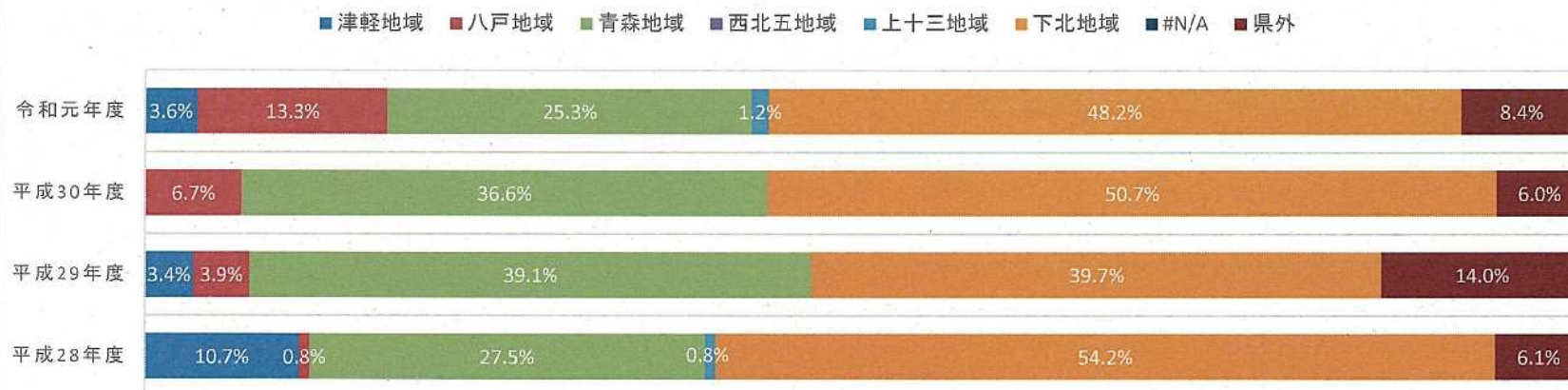


【下北地域に居住する患者がどの地域で診療を受けているか（入院外）】



下北地域における患者流出状況（脳血管疾患）

【下北地域に居住する患者がどの地域で診療を受けているか（入院）】



【下北地域に居住する患者がどの地域で診療を受けているか（入院外）】

